

九州海外協力協会だより

平成30年7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震により、被災された皆様へ
心よりお見舞い申し上げますと共に、不幸にもお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

「試行」からの「思考アップデート」

情報通信技術の革新により、世界中の情報が瞬時に手に入る世の中になりました。この技術革新によって、私たちの生活は便利で快適になって来たことは間違いありません。しかし、それ故に、**社会の変化のスピードは加速度的に速くなり**、私たちが学んできた知識や身につけた技術の大半は、瞬く間に陳腐化していくことを覚悟する必要があります。そんな現代社会において、「**新たな価値生み出す**」ためには、社会環境に応じた「**思考（考え方）のアップデート**」が不可欠であると考えます。私自身も半世紀以上生きて来て、思考回路が老朽化し、アップデートどころか現状維持もままならないと危機感を抱いておりますが、私のことはさておき、どうすれば私たちの「**思考（Way of Thinking）**」はアップデートされるのでしょうか？



結論から申し上げますと、とにかく「**試行（Trial）**」することだと私は考えています。「**試行と思考**」。単なるこじつけだと笑われそうですが、少し説明します。「**試行**」すると、必ず**フィードバック**を得ることができます。例えば、魚釣りをしている、なかなか釣れないとします。釣果を上げたいと思えば、「**場所を移す**」、「**餌を変える**」、「**針の大きさを変える**」、「**深さを変える**」等、いろんな「**試行**」ができるわけです。そして、そのフィードバックを得て、組み合わせを変えながら、また新たな「**試行**」を繰り返すこととなります。特に期待通りの結果が出なかったとき、要するに**失敗（Error）**だった場合には、当初の行動を**修正（Modification）**する機会となり、新たな「**試行**」へとつながっていきます。まさにその繰り返しによる経験の蓄積が「**思考**」のアップデートなのだと考えます。一方、試行をしなければ、何のフィードバックもありませんし、修正もなく停滞し、いわゆる「**思考停止**」状態に陥ることとなります。「**思考**」という頭の中で起こっていることも、「**試行**」という行動が無ければ本質的な変化は起きないというのが私の持論です。

TRIAL & ERROR


 UPDATE the WAY
of THINKING

実は、同様のことを青年海外協力隊員の活動現場でも感じていました。**試行（Trial）、失敗（Error）、修正（Modification）のサイクル**を回せるか回せないかで、活動内容に顕著な差が現れます。特に「**試行**」の前で止まっている隊員をよく見受けませんが、「**待ちの姿勢**」「**失敗や反発への過剰な恐れ**」「**完璧主義的な考え**」等が邪魔をすることが多いです。逆に「**積極的な姿勢**」「**失敗や反発を恐れない勇気**」「**楽観的な考え**」があれば、容易に「**試行**」が起こり、サイクルが回りだして「**思考**」もアップデートされていきます。

自己啓発本の受け売りのようになってしまいましたが、この紙面を借りて自分に言い聞かせている次第です。（馬田）

「講師派遣」「講座の企画」等のご要望があれば、お気軽にご相談ください。

1. 世界各国の紹介（生活習慣・衣装・料理等）
2. 異文化を体験できるゲーム・遊び
3. 「ボランティア」「国際協力／交流」「異文化理解」等をテーマにした講座等の企画、実施、講師派遣
4. 3. に関する教育カリキュラムの提案等


 世界の話を
聞いてみない？

事務局 → TEL : 092-415-6536, email : ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp

大洋州理数科教員青年研修 in 2018

9月5日からスタートした、太平洋州の先生方の研修が無事に終了しました。今回の研修では、飯塚・福岡・北九州に滞在し、学校や博物館等を訪問しました。研修当初は「うちの国には教材がなくて困っている」、「もっと先進国からの支援で教育を良くしてほしい」と言っていた大洋州の先生たち。研修を通して「教材は身の回りにある」ことに気づき、さらに「教育に飛び抜かしはない」、「毎日の積み重ねと、基礎基本が大切」、「自分ができることを少しずつ輪として広げていくことが大切」と、自分事で考えることが出来るようになってきました。

私、米村も自身も新しい手法のワークショップに挑戦しました。大洋州の「わくわくする」10年後を実現する為に、先生達とよりよい教育とは？を考えました。研修の最後には、模擬授業作成会や検討会を行い、それぞれ自国で実行するイベントの企画書（アクションプラン）を作成し、研修の成果を発表しました。アクションプランには、以前に青年研修に参加した先輩研修員やJICAボランティアとのコラボレーションも含まれており、素晴らしい内容でした。

この研修を、自国の教育の為に大いに活かして欲しいです！

今回の研修にご協力下さいました皆様、ホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました！！（米村）



研修員とホストファミリーの皆様

みんな、いい笑顔ですね～♪

ホストファミリー募集！！

青年研修ではホームビジットやホームステイを実施しています。研修員たちは「日本に家族ができて嬉しい！」と、このプログラムを楽しみにしています。英語が出来なくても大丈夫！興味のある方は、是非お問い合わせ下さい♪（次回は12月1日、2日です）

<http://www.npo-kyushu.or.jp/new/application1.html>

大洋州のヤングリーダーたちに突撃インタビュー！！

上記の通り、当協会では2週間の青年研修を受入れました。日本滞在中にたくさんの人と出会い、様々な経験をした研修員たちに、ありきたりではありますがこんな質問を投げかけてみました。『一番気に入った日本食は何ですか？』。結果、外国人に大人気のお寿司やラーメンを抑えて堂々の第1位はなんと【うどん】。2位は【お寿司】、3位には【すき焼き】がランクインしました。【羊かん】や【梅ヶ枝餅】といった和菓子もお口に合ったようです。ミクロネシアのヴァネッサさんは『ホームビジット先のご家庭でいただいたココナッツ入りの手作りカレーが最高に美味しかったです！』ととびっきりの笑顔で答えてくれました。

そして『日本の何が一番驚きましたか？』の質問には、【清潔さ】【マナー】【テクノロジー】【おもてなし】【トイレ（アメリカにも行ったことがあるけどあんなトイレは初めてだ）】等々とならんで【小学生】と回答した人が2人。曰く『7歳の子どもでも礼儀正しく挨拶ができる。自分たちで教室を掃除したり給食の準備をしたり、パプアニューギニアでは考えられない。僕たちにまで敬意を表してくれる小学生に感動した。』日本（人）の代表として立派に親善大使としての役目を果たしてくれた日本の小学生の皆さんのことは、大洋州の国々で広く語り継がれることでしょう。ご協力を頂きました皆さま、本当にありがとうございました。（柴田）



ナニ！
コレ！！

オー——！！

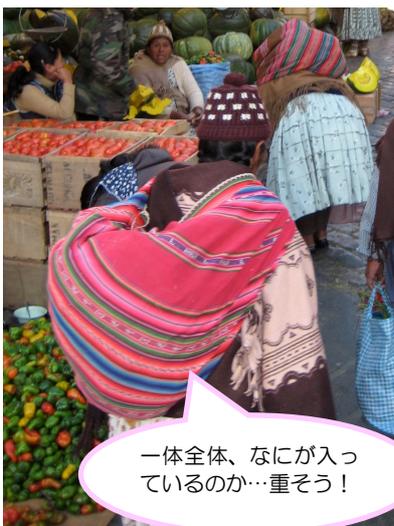
オイシイ！



私の☆任国自慢！！～ボリビア・ラパス

私の任地は、世界で最も高い首都として知れ渡っている(?)ボリビアのラパス。到着直後は、空気も薄くて寒くて「なんてところに連れてこられたんだ…」となりますが、一か月もすれば低酸素にも、暖房のないレンガ造りの家にも慣れ、快適に過ごせるよう(な気)になります。

そんなラパスの自慢と言えば、“チョリータさん”。“チョリータ”は、先住民族の女性の愛称で、三つ編みに山高帽、ブワッと広がるスカートに身を着けているのが特徴です。そんな彼女たちのマストアイテムが背中に負った「アグアヨ(織物の風呂敷)」。その中には、市場で買った物や日用品、赤ちゃんはまだしも、なんだかモゾモゾ動くものなど、正直中身が分からないことも多々ありました。しかし、共通しているのは「大きくて重そう」ということ。大きなアグアヨを担いで満員のバスにもガンガン乗り込んでくる(そして荷物は肩から降ろさない)ので、バスを下りるときにアグアヨとチョリータさんが通路をブロックして目的地で降りられないということも度々ありました。好奇心のあまり「2年間、あの中に何が入っているか調査して、調査結果をまとめるという活動に変更しようかな」と真剣に思ったぐらいです。



一体全体、なにが入っているのか…重そう!

チョリータファッションブティックの軒下。色とりどりのスカートでいっぱい!



お祭り見学のチョリータさん。アグアヨはマストアイテム。



アグアヨには様々な色や柄があって、見比べるのも楽しいものです。チョリータさんとアグアヨのコンビは色んな意味で最強です!ラパスに行かれた際には、是非、素敵なアグアヨを背負った粋なチョリータさんをチェックしてみてください!11月に開催される「地球市民どんたく」ではボリビアのミニワークを開催します!ご興味のある方は下記をご覧ください!(橋口)

☆イベント情報☆

地球市民どんたく2018!!

来る11月18日(日)、天神中央公園にて「地球市民どんたく2018」が開催されます。今年のテーマはズバリ!「SDGs」。参加団体の活動をSDGs18の目標に紐付け、来場者の皆様に分かりやすく紹介します!会場内では親子で参加していただける、マダガスカルのお鬼ごっこ「クバーラ」など楽しい企画も盛りだくさん!当協会のブースでは、カンボジアでの手仕事支援で作成したクラフト製品の展示をはじめ、カンボジアの雑貨などを販売します。また、「異文化体験」のミニワークショップも実施します。イベントでの売り上げは全て、開発途上国での活動に使わせていただきます!みなさんにご支援いただいた、カンボジアの手仕事支援の成果を是非ともご覧ください☆皆様のお越しをお待ちしております!!



私の手仕事、見に来てくださいね!

異文化体験ワークショップ「ボリビアのお話と笛作り」

世界で最も高い首都ラパスやウユニ塩湖を有する不思議な国「ボリビア」。高地での生活には、いろんな面白体験がありました。謎の風呂敷「アグアヨ」だけじゃない!ボリビアの魅力をたっぷりお話しします。ストロー笛も作りますよ~♪

日時:11月18日(日) 1回目 11:00~11:45
2回目 14:00~14:45

場所:天神中央公園 NPO九州ブース

定員:10名 *定員になり次第締め切ります。

参加費:300円(ワークショップキットをご購入いただきます)

福岡で食す！ブラジル飯！！

「ブラジルのみなさ～ん！元気ですか～！？」日本から一番遠い国、ブラジル。しかし、日系人研修生のイサム君が当協会にやってきましたり、米村職員がブラジルでの研修に参加したことで、身近な国になりました…が！ブラジル料理ってよく知らない。お肉ばかり食べているのかな？とふと、今回は昨年度当協会が実施した「異文化理解講座」の5歩目を実施させていただいた、「ドイスラゴス」（福岡市中央区今泉）をご紹介します。

ブラジル料理の定番！やっぱりお肉！！「シュラスコ」をはじめ、ブラジルの揚げ餃子といわれる「パステル」など本場の味が楽しめます。ドリンクのオススメはなんとと言っても「カイピリーニャ」。さとうきびのお酒とクラッシュした果物で作ったあま～いカクテルです！2杯飲めば気分はラテンアメリカ！！アルコールが苦手な方は、定番ジュースの「グアラナ」をどうぞ！貸切でパーティやイベントも実施できますよ！！店長山口さんの人柄も最高です♪是非、一度ご来店下さい☆

ブラジル料理 **Dois lagos**（ドイスラゴス）HP：<http://www.doislagos.jp/>



5歩目の様子
たのしかった！！



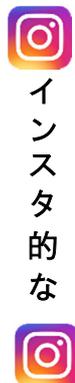
揚げたてがおいしい！
「パステル」

特定非営利活動法人 九州海外協力協会
〒812-0011福岡市博多区博多駅前3-10-34Mビル3号館
3階C号室
TEL：092-415-6536 FAX：092-415-6518
E-mail：ngogshuint@npo-kyushu.or.jp



(特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆

当協会では、活動にご賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「九州海外協力協会だより(本紙)」をお送りさせていただいているほか、当協会主催・共催のイベント情報などをご案内しております。ご関心のある方は、以下へお問い合わせ下さい！



カンボジアの食材！！
産毛がかわいい、大きなタランチュラ。佃煮や揚げて食べます。
#かに味噌みたいな味。
#美味#虫を食べる
#世界に興味のある人とつながりたい #ハロウィン

発行：特定非営利活動法人 九州海外協力協会
〒812-0011福岡市博多区博多駅前3-10-34Mビル3号館3階C号室
TEL:092-415-6536 FAX:092-415-6518
HP：<http://www.npo-kyushu.or.jp/> E-mail：ngogshuint@npo-kyushu.or.jp

